

Anritsu Advancing beyond

老朽化・修理サポート期限満了の 設備更新をご検討のお客様へ 推奨代替機種のご提案

スペクトラムアナライザ
ベクトル信号発生器

長年ご愛顧いただきました旧モデルのスペクトラムアナライザ・ベクトル信号発生器など、製造中止後の修理サポート期限が満了しております。（右記）

本書では現行モデルから代替機種をご提案すると共に、機能/性能比較や活用事例などのリーフレットもご紹介いたします。

ご不明な点がございましたらお気軽にご相談ください。

修理サポート期限満了（一例）

MS2667C	: 2018年	10月31日
MS2681A	: 2018年	6月 1日
MS2683A	: 2019年	3月31日
MS2687B	: 2020年	12月 1日
MS8608A	: 2020年	12月 1日
MS8609A	: 2020年	12月 1日
MG3700A	: 2020年	6月 1日
MS8901A	: 2021年	9月 1日

製造中止機種

MS2661/63/65/67/78
スペクトラムアナライザ



MS2681/83/87
スペクトラムアナライザ



MS8901A
デジタル放送信号
アナライザ



MG3700A
ベクトル信号発生器



上記以外の旧機種・他社製品でも代替としてご利用いただけるケースがございます。

一方で、想定されている試験仕様に求められる測定器の性能/機能を調査したり、機能の有無や設定方法などを確認することは非常に負担の多い作業です。

アンリツでは専任の営業技術スタッフがおりますのでお気軽にご相談ください。

推奨代替機種

MS2840A
シグナルアナライザ
(スペクトラムアナライザ)



MS2830A
シグナルアナライザ
(スペクトラムアナライザ)



MG3710E
ベクトル信号発生器



MG3740A
アナログ信号発生器



主な用途：

- デジタル業務無線：APCO P25, NXDN, DMR, ARIB STD-T61/79/86/98/102/115/116 など
- アナログ無線：FM, AM
- 放送：ISDB-T, FM/AMラジオ, STL/TTL
- 気象/航空/船舶など一次レーダ
- 920MHz帯 IoT/M2M 電波法/受信評価
- 送信評価：新スプリアス, 周波数偏差 など
- 受信評価：希望波+変調妨害波/遅延波, BER測定

※推奨印刷設定：A3/中とじ/ホチキス

MS2840A シグナルアナライザ (スペクトラムアナライザ)



- 測定機能：周波数カウンタ、パワー、占有周波数帯幅、隣接チャネル漏えい電力、マスク、AM変調度、FM偏移、CCDF、位相雑音測定、NF測定など
- デジタル機能：キャプチャ&コマ送り解析、過渡特性(トランジェント)

- 用途例
- M/N帯無線機のスプリアスなど送信評価
 - PLL回路の位相雑音性能/トランジェント ※特にVHF/UHF帯で推奨
 - ダウンコンバータ/アンプのNF測定
 - 気象/船舶/航空など一次レーダーの送信評価

シグナルアナライザ MS2840A

- Opt.040 9 kHz~3.6 GHz
- Opt.041 9 kHz~6.0 GHz
- Opt.044 9 kHz~26.5 GHz
- Opt.046 9 kHz~44.5 GHz

最小構成(本体+opt.040)
200.0万円~

推奨構成①：3.6/6GHzモデル

3.6 GHzモデル
275.0万円

6 GHzモデル
385.0万円

形名	品名	概要	数	備考
MS2840A	シグナルアナライザ	本体	1	
MS2840A-040	3.6GHz シグナルアナライザ	周波数範囲: 9 kHz~3.6 GHz	※	※いずれか選択
MS2840A-041	6GHz シグナルアナライザ	周波数範囲: 9 kHz~6 GHz	※	※いずれか選択
MS2840A-002	高安定基準発振器	エージングレート: ±1×10 ⁻⁷ /年	1	
MS2840A-066	低位相雑音	主にVHF/UHF帯の位相雑音性能を改善。 チャネル間隔が数kHz~数十kHzの狭帯域無線のスプリアス測定、放送(ISDB-T等)、PLL回路の評価に推奨。	1	3.6/6GHzモデルのみ対応
標準	解析帯域幅 31.25MHz	FFT方式による多面解析/デジタル化に対応	1	

推奨構成②：26.5/44.5GHzモデル

26.5 GHzモデル
380.0万円

44.5 GHzモデル
630.0万円

形名	品名	備考	数
MS2840A	シグナルアナライザ	本体	1
MS2840A-044	26.5GHz シグナルアナライザ	周波数範囲: 9 kHz~26.5 GHz	※ ※いずれか選択
MS2840A-046	44.5GHz シグナルアナライザ	周波数範囲: 9 kHz~44.5 GHz	※ ※いずれか選択
標準	高安定基準発振器	エージングレート: ±1×10 ⁻⁷ /年	1
標準	解析帯域幅 31.25MHz	FFT方式による多面解析/デジタル化に対応	1

その他オプション ※本書に記載のないオプション等もございます。詳細はカタログ・構成ガイドをご覧ください。

形名	品名	概要
MS2840A-010	位相雑音測定機能	周波数オフセット範囲10 Hz~10 MHzにおける位相雑音測定機能を追加。 無線機の送信特性およびPLL回路などの評価に推奨。
MS2840A-017	雑音指数測定機能	雑音指数測定機能を追加。Noisecom社NC346シリーズ(別売)のノイズソースを使い、Yファクタ法でアンプやコンバータなどのNF測定が可能。
MS2840A-019	2dBステップアッテネータ	※44.5GHzモデル専用。(標準10dBステップ) アッテネータ分解能を2dBに改善。スプリアス評価時などミキサ入力レベルの調整に必要。
MX269017A	ベクトル変調解析ソフトウェア	業務無線や航空船舶無線など各種デジタル無線の変調解析に対応。
MX269037A	ISDB-Tmm解析ソフトウェア	ISDB-T/エリアワンセグ/ISDB-TSB/ISDB-Tmmの送信評価に対応。 地上波デジタル放送用の送信局/中継局の開発/製造/保守に推奨。
MS2840A-021	6GHzベクトル信号発生器	周波数範囲250kHz~6GHz・RF帯域幅120MHzの信号発生器を内蔵。
MX269902A	TDMA IQproducer	※本体3.6/6GHzモデルかつ信号発生器を搭載時に選択可能。opt.021等必要 TDMAかつ各種変調方式の波形パターンを作成可能。
MX269904A	Multi-Carrier IQproducer	※本体3.6/6GHzモデルかつ信号発生器を搭載時に選択可能。opt.021等必要 トーン信号や他の波形パターンからマルチキャリアの波形パターンを作成可能。
MX284059A	パルスレーダー測定機能	※本体26.5/44.5GHzモデルのみ対応 気象/航空/船舶などパルス方式・チャープ方式の一次レーダの送信特性(送信電力、送信周波数、パルス時間、40 dB帯域幅、スプリアス、占有周波数帯域幅)を自動的に測定。

注：記載の価格は2021年7月現在の日本国内の標準価格です。為替等で変動します。
最新の価格は弊社営業または特約店/商社へお問い合わせください。

MS2830A シグナルアナライザ (スペクトラムアナライザ)



- 測定機能：周波数カウンタ、パワー、占有周波数帯幅、隣接チャネル漏えい電力、マスク、AM変調度、FM偏移、CCDF、位相雑音測定、NF測定など
- 拡張機能：内蔵信号発生器、オーディオアナライザ/ジェネレータ、各種変調解析

用途例

- VHF/UHF帯 **デジタル/アナログ無線機の新スプリアス**を含む送信&受信評価
- アナログ無線機の**旧ラジオコミュニケーションテスト**の代替
- 地上デジタル放送(ISDB-T)**の送信評価
- 920MHz帯を含むIoT/M2M**の送信&受信評価

シグナルアナライザ MS2830A

Opt.040 9 kHz~3.6 GHz
Opt.041 9 kHz~6.0 GHz

最小構成(本体+opt.040)
128.0万円~

3.6 GHzモデル
383.0万円

6 GHzモデル
435.0万円

推奨構成：3.6/6GHzモデル

形名	品名	概要	数	備考
MS2830A	シグナルアナライザ	本体	1	
MS2830A-040	3.6GHz シグナルアナライザ	周波数範囲：9 kHz~3.6 GHz	※	※いずれか選択
MS2830A-041	6GHz シグナルアナライザ	周波数範囲：9 kHz~6 GHz	※	※いずれか選択
MS2830A-002	高安定基準発振器	エージングレート：±1×10 ⁻⁷ /年	1	
MS2830A-006	解析帯域幅 10MHz	FFT方式による多面解析/デジタイズに対応	1	
MS2830A-020	3.6GHzベクトル信号発生器	周波数：250 kHz~3.6 GHz、 出力レベル：-40 dBm~+20 dBm	1	
MS2830A-022	ベクトル信号発生器用 ローパワー拡張	出力レベル下限拡張：-40 dBm⇒-136 Bm 受信感度試験に推奨	1	注：出力レベル上限も5dB低下
MS2830A-027	ベクトル信号発生器用 メモリ拡張256Mサンプル	メモリ容量拡張：64 M⇒256 Mサンプル 大容量または多数の波形パターンを利用する際に推奨	1	
MS2830A-066	低位相雑音	主にVHF/UHF帯の位相雑音性能を改善。 チャネル間隔が数kHz~数十kHzの 狭帯域無線のスプリアス測定や放送(ISDB-T等)の評価に必須。	1	注：後付け不可

その他オプション

※本書に記載のないオプション等もございます。詳細はカタログ・構成ガイドをご覧ください。

形名	品名	概要
MS2830A-005	解析帯域幅拡張 31.25MHz	解析帯域幅を 31.25 MHz に拡張。※opt.006も必要 FFT方式による多面解析/デジタイズに対応
MS2830A-010	位相雑音測定機能	周波数オフセット範囲10 Hz~10 MHzにおける位相雑音測定機能を追加。 放送(ISDB-T)の位相雑音などの評価 に推奨。 ※opt.002必要/opt.001不可
MS2840A-017	雑音指数測定機能	雑音指数測定機能を追加。Noisecom社NC346シリーズ(別売)のノイズソースを使い、 Yファクタ法で アンプやコンバーターなどのNF測定 が可能。
MS2830A-018	オーディオアナライザ	アナログ無線機の評価用に オーディオアナライザ/ジェネレータ を内蔵。 AF解析：復調信号の周波数、レベル、ひずみ、SINAD、THDなど AF出力：AFトーン、DCSコード、白色雑音、疑似音声(G.227)など ※MX269018A等必要
MS2830A-021	6GHzベクトル信号発生器	周波数範囲250 kHz~6 GHz・RF帯域幅120 MHzの信号発生器を内蔵。
MS2830A-026	BER測定機能	入力ビットレート：100 bps~10 Mbps
MS2830A-052	内蔵信号発生器連携機能	スペアナと信号発生器を連携。フィルタ/ケーブル/ATT/アンプ/アイソレータ等の 電子部品の伝送特性(周波数応答) の評価に推奨。 ※opt.021等必要
MX269017A	ベクトル変調解析ソフトウェア	連続波またはTDMA、約20種類の変調方式に対応。 業務無線など 各種デジタル無線機器の変調解析に利用可能。
MX269018A	アナログ測定ソフトウェア	アナログ無線機(FM/AM/ΦM) の送信&受信の評価に対応。送信測定(電力、周波数誤差、 変調S/N、変調ひずみ、スプリアス、占有周波数帯幅など)および受信評価のRF信号出力 (トーン信号、DCSコード)に対応。 ※受信評価時は信号発生器(opt.088等)が必要。
MX269037A	ISDB-Tmm解析ソフトウェア	ISDB-T/エリアワセグ/ISDB-TSB/ISDB-Tmm のRF送信特性用ソフトウェア。 地上波デジタル放送用の送信局や中継局の評価に利用可能。
MX269902A	TDMA IQproducer	信号発生器用ライセンス。 TDMA方式 の波形パターンを作成可能。 業務無線など希望波や妨害波を作成し、受信感度の評価に利用可能。 ※opt.021等必要
MX269904A	Multi-Carrier IQproducer	信号発生器用ライセンス。 トーン信号や別の波形パターン をベースに マルチキャリア化した波形パターン を作成可能。 ※opt.021等必要

注：記載の価格は2021年7月現在の日本国内の標準価格です。為替等で変動します。
最新の価格は弊社営業または特約店/商社へお問い合わせください。

MG3710E ベクトル信号発生器



- 1台で2つの変調信号を合成して出力可能
受信試験の隣接波選択度（希望波+変調妨害波）など利用可能。
- 機能：BER測定、AM/FM/パルス変調、AWGN
- 波形パターン(無償)：LTE, W-CDMA, 1xEV-DO, GSM/EDGE, ISDB-T, 無線LAN(11a/b/g), GPS, GLONASS, QZSS, AWGN
- 波形パターン(有償)：無線LAN用DFS(国内, 米国FCC, 欧州ETSI)
- 波形生成ソフト(有償)：5G NR sub-6GHz, LTE/Advanced, 業務無線(ARIB STD-39/T61/T79/T86/T98/T102/T115/T116, APCO P25, NXDN, DMR等) フェージング、マルチキャリア

ベクトル信号発生器 MG3710E
 Opt.032/062 100 kHz~2.7 GHz
 Opt.034/064 100 kHz~4.0 GHz
 Opt.036/066 100 kHz~6.0 GHz

最小構成(本体+opt.032)
180.0万円~

- 用途例
- セルラー基地局/中継局 (5G/LTE)
 - イミュニティ試験向けマルチ妨害波(各種変調信号、AWGN)
 - 業務無線の希望波(スタティック、フェージング)、変調妨害波、BER測定
 - 車のキーレス/TPMSなど、外部パルス信号によるFSK変調+BER測定
 - 旧製品のベクトル/アナログ信号発生器の代替

推奨構成：

2.7 GHzモデル
262.0万円

4 GHzモデル
282.0万円

6 GHzモデル
342.0万円

形名	品名	概要	数	備考
MG3710E	ベクトル信号発生器	本体	1	
MG3710E-002	高安定基準発振器	エージングレート：±1×10 ⁻⁷ /年	1	
MG3710E-032	1stRF 100kHz ~ 2.7GHz	周波数範囲：100 kHz~2.7 GHz	※	※いずれか選択
MG3710E-034	1stRF 100kHz ~ 4GHz	周波数範囲：100 kHz~4 GHz	※	※いずれか選択
MG3710E-036	1stRF 100kHz ~ 6GHz	周波数範囲：100 kHz~6 GHz	※	※いずれか選択
MG3710E-041	1stRF ハイパワー拡張	出力レベル上限拡張：+13dBm⇒+20Bm ※CW、50MHz~4GHzにて	1	
MG3710E-042	1stRF ローパワー拡張	出力レベル下限拡張：-110dBm⇒-127Bm ※CW、50MHz~3GHzにて	1	
MG3710E-045	1stRF ARBメモリ拡張 256Mサンプル	メモリ容量拡張：標準64 M⇒256 Mサンプル 大容量または多数の波形パターンを利用する際に推奨	1	
MG3710E-048	1stRF ベースバンド加算	波形メモリを2個内蔵。2つの波形パターンを内部で合成して出力可能。(例:希望波+妨害波など)	1	

その他オプション ※本書に記載のないオプション等もございます。詳細はカタログ・構成ガイドをご覧ください。

形名	品名	概要
MG3710E-018	アナログIQ入出力	外部のアナログIQ信号を接続するための入力/出力コネクタを搭載
MG3710E-021	BER測定機能	入力ビットレート：100 bps~40 Mbps
MG3710E-050	1stRF 追加アナログ変調	アナログ変調(FM/AM)機能を内部×2系統に拡張し、外部変調も追加
MX370002A	公共無線システム 波形パターン	ARIB STD-39/T61/T79/T86に適合した波形パターン
MX370073B	DFSレーダパターン	5 GHz帯WLAN機器のDFS機能を試験するためのパルス信号のセット 日本の電波法、米国のFCCに対応
MX370075A	DFS (ETSI) 波形パターン	5 GHz帯WLAN機器のDFS機能を試験するためのパルス信号のセット 欧州のETSIに対応
MX370102A	TDMA IQproducer	TDMA方式のパラメータ設定が可能。公共無線など幅広い用途で使用可能。
MX370107A	Fading IQproducer	別の波形パターンをベースにフェージング処理した波形パターンを作成
MX370111A	WLAN IQproducer	IEEE 802.11a/b/g/j/n/p に準拠した波形パターンを作成
MX370111A-002	802.11ac (160MHz) オプション	IEEE 802.11ac に準拠した波形パターンを作成 ※MX370111A必要
MX370113A	5G NR TDD sub-6GHz IQproducer	5G NR FR1(sub-6GHz)TDD に準拠した波形パターンを作成
MX370114A	5G NR FDD sub-6GHz IQproducer	5G NR FR1(sub-6GHz)FDD に準拠した波形パターンを作成

注：記載の価格は2021年7月現在の日本国内の標準価格です。為替等で変動します。最新の価格は弊社営業または特約店/商社へお問い合わせください。

MG3740A アナログ信号発生器 ※オプションでベクトル変調に拡張



アナログ信号発生器 MG3740A
 Opt.032/062 100 kHz~2.7 GHz
 Opt.034/064 100 kHz~4.0 GHz
 Opt.036/066 100 kHz~6.0 GHz

最小構成(本体+opt.032)
120.0万円~

- 1台で2つの変調信号を合成して出力可能
 受信試験の隣接波選択度(希望波+変調妨害波)など利用可能。
 - 機能: BER測定、AM/FM/パルス変調
 - 波形パターン(有償): 業務無線(ARIB STD-T61/T79/T86)
 - 波形生成ソフト(有償): 業務無線(ARIB STD-39/T61/T79/T86/T98/T102/T115/T116, APCO P25, NXDN, DMR等)、フェージング
- 用途例
- 業務無線の希望波(スタティック、フェージング)、変調妨害波、BER測定
 - 車のキーレス/TPMSなど、外部パルス信号によるFSK変調+BER測定
 - 旧製品のベクトル/アナログ信号発生器の代替

推奨構成:

2.7 GHzモデル
242.0万円

4 GHzモデル
262.0万円

6 GHzモデル
322.0万円

形名	品名	概要	数	備考
MG3740A	ベクトル信号発生器	本体	1	
MG3740A-002	高安定基準発振器	エージングレート:±1×10 ⁻⁷ /年	1	
MG3740A-020	デジタル変調	デジタル変調機能を追加。RF変調帯域幅: 2MHz	1	
MG3740A-032	1stRF 100kHz ~ 2.7GHz	周波数範囲: 100 kHz~2.7 GHz	※	※いずれか選択
MG3740A-034	1stRF 100kHz ~ 4GHz	周波数範囲: 100 kHz~4 GHz	※	※いずれか選択
MG3740A-036	1stRF 100kHz ~ 6GHz	周波数範囲: 100 kHz~6 GHz	※	※いずれか選択
MG3740A-041	1stRF ハイパワー拡張	出力レベル上限拡張: +13dBm⇒+20Bm ※CW、50MHz~4GHzにて	1	
MG3740A-042	1stRF ローパワー拡張	出力レベル下限拡張: -110dBm⇒-127Bm ※CW、50MHz~3GHzにて	1	
MG3740A-045	1stRF ARBメモリ拡張 256Mサンプル	メモリ容量拡張: 標準64 M⇒256 Mサンプル 大容量または多数の波形パターンを利用する際に推奨	1	
MG3740A-048	1stRF ベースバンド加算	波形メモリを2個内蔵。2つの波形パターンを内部で合成して出力可能。(例:希望波+妨害波など)	1	

その他オプション ※本書に記載のないオプション等もございます。詳細はカタログ・構成ガイドをご覧ください。

形名	品名	概要
MG3740A-021	BER測定機能	入力ビットレート: 100 bps~40 Mbps
MG3740A-050	1stRF 追加アナログ変調	アナログ変調(FM/AM)機能を内部×2系統に拡張し、外部変調も追加
MX370002A	公共無線システム 波形パターン	ARIB STD-39/T61/T79/T86に適合した波形パターン
MX370102A	TDMA IQproducer	TDMA方式のパラメータ設定が可能。公共無線など幅広い用途で使用可能。
MX370107A	Fading IQproducer	別の波形パターンをベースにフェージング処理した波形パターンを作成

注: 記載の価格は2021年7月現在の日本国内の標準価格です。為替等で変動します。
 最新の価格は弊社営業または特約店/商社へお問い合わせください。

リーフレット：製造中止製品 vs.代替機種 比較

長年ご愛顧いただきましたスペクトラムアナライザ・送信機テスタ・ベクトル信号発生器・デジタル放送信号アナライザについて、それぞれ代替機種をご提案いたします。

機能・性能など比較表をリーフレットにまとめておりますので是非ご覧ください。



MS2681A/83A、MS8608A/09A、MG3700A の代替機種のご提案

製造中止：スペクトラムアナライザ MS2681A・MS2683A
送信機テスタ MS8608A・MS8609A
ベクトル信号発生器 MG3700A

代替機種：シグナルアナライザ MS2830A
ベクトル/アナログ信号発生器 MG3710E・MG3740A

被測定物：主に公共業務無線。簡易無線・業務無線など。

評価内容：送信・受信評価・ARIB STD-T61/79/86/98/102/115/116など

資料URL：

https://pages.anritsu-jpresponse.com/rs/408-MNE-052/images/WJ-P2TD-170271-02_LMRtester-substitute-product.pdf



スペクトラムアナライザMS2667C/MS2687B の代替機種のご提案

製造中止：スペクトラムアナライザ MS2667C・MS2687B

代替機種：シグナルアナライザ MS2830A・MS2840A

被測定物：マイクロ波多重回線・HF/VHF帯無線設備など。

評価内容：送信評価。

資料URL：

https://pages.anritsu-jpresponse.com/rs/408-MNE-052/images/WJ-P2TD-190031-02_MS26xx-substitute-product.pdf



ベクトル信号発生器 MG3700A の代替機種のご提案

製造中止：ベクトル信号発生器 MG3700A

代替機種：ベクトル/アナログ信号発生器 MG3710E・MG3740A

被測定物：無線機全般。

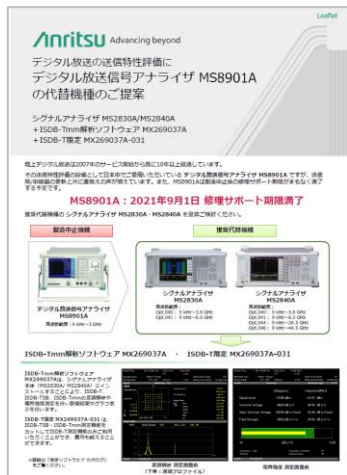
評価内容：受信評価。

資料URL：

https://pages.anritsu-jpresponse.com/rs/408-MNE-052/images/WJ-P2TD-190036-01_MG3700A-substitute-product.pdf



リーフレット：製造中止製品 vs.代替機種 比較



デジタル放送信号アナライザ MS8901Aの代替機種のご提案

製造中止：デジタル放送信号アナライザ MS8901A

代替機種：シグナルアナライザ MS2830A・MS2840A

被測定物：地上デジタル放送 ISDB-T

評価内容：送信評価

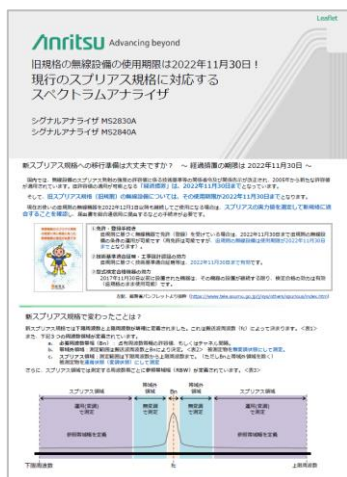
資料URL：

https://pages.anritsu-jpresponse.com/rs/408-MNE-052/images/WJ-P2TD-190005-04_MS8901A-substitute-product.pdf



リーフレット：アプリごとのご提案

代替製品としてご提案するシグナルアナライザ（スペクトラムアナライザ）について、いくつか具体的な活用事例をご紹介します。本書に記載のないご用途についてはお気軽に弊社営業もしくは商社へお問い合わせください。



現行のスプリアス規格に対応するスペクトラムアナライザ

推奨製品：シグナルアナライザ MS2830A・MS2840A

被測定物：無線機全般。主に公共業務無線。

評価内容：送信評価。新スプリアス。

資料URL：

https://pages.anritsu-jpresponse.com/rs/408-MNE-052/images/WJ-P2TD-190020-01_Spurious-evaluation.pdf



サブGHz帯IoT/M2M用 無線設備の評価に！！

推奨製品：シグナルアナライザ MS2830A

被測定物：WiSUN/LoRa/ZETA/Sigfoxなど920MHz帯無線機器

評価内容：送信 & 受信評価・ARIB STD-T108・TELEC-T245

資料URL：

https://pages.anritsu-jpresponse.com/rs/408-MNE-052/images/WJ-P2TD-160208-03_IoTM2M-TRX-evaluation.pdf



IoT/M2M機器の受信感度評価を定量的に！
(LoRaやZigbeeなど)
RF信号のキャプチャ&プレイバック

シグナルアナライザ MS2830A

IoT/M2M機器は、さまざまなIoTデバイスで構成され、無線通信機能を持つデバイスに属します。IoTデバイスは、さまざまな用途で利用され、さまざまなIoTデバイスで構成されています。IoTデバイスの受信感度を定量的に評価することは、IoTデバイスの開発において重要な課題です。受信感度の評価は、無線通信の信頼性を確保するために不可欠な要素です。受信感度の評価は、無線通信の信頼性を確保するために不可欠な要素です。受信感度の評価は、無線通信の信頼性を確保するために不可欠な要素です。

IoT/M2M機器の受信感度評価を定量的に！
RF信号のキャプチャ&プレイバック

シグナルアナライザ MS2830A

IoT/M2M機器は、さまざまなIoTデバイスで構成され、無線通信機能を持つデバイスに属します。IoTデバイスは、さまざまな用途で利用され、さまざまなIoTデバイスで構成されています。IoTデバイスの受信感度を定量的に評価することは、IoTデバイスの開発において重要な課題です。受信感度の評価は、無線通信の信頼性を確保するために不可欠な要素です。受信感度の評価は、無線通信の信頼性を確保するために不可欠な要素です。受信感度の評価は、無線通信の信頼性を確保するために不可欠な要素です。

IoT/M2M機器の受信感度評価を定量的に！
RF信号のキャプチャ&プレイバック

シグナルアナライザ MS2830A

IoT/M2M機器の受信感度評価を定量的に！ RF信号のキャプチャ&プレイバック

推奨製品：シグナルアナライザ MS2830A + 信号発生器オプション など
 被測定物：WiSUN/LoRa/ZETA/Sigfox、ZigBEE、省電力無線など
 評価内容：受信評価。（無線機2台を対向にしてPER評価している方に推奨）
 資料URL：

https://pages.anritsu-jpresponse.com/rs/408-MNE-052/images/WJ-P2TD-180034-02_IoTM2M-RX-evaluation.pdf



キーレスエントリーなど2値FSK変調の送信特性評価に！！

シグナルアナライザ MS2830A

IoT/M2M機器は、さまざまなIoTデバイスで構成され、無線通信機能を持つデバイスに属します。IoTデバイスは、さまざまな用途で利用され、さまざまなIoTデバイスで構成されています。IoTデバイスの送信特性を定量的に評価することは、IoTデバイスの開発において重要な課題です。送信特性の評価は、無線通信の信頼性を確保するために不可欠な要素です。送信特性の評価は、無線通信の信頼性を確保するために不可欠な要素です。送信特性の評価は、無線通信の信頼性を確保するために不可欠な要素です。

IoT/M2M機器の送信特性評価を定量的に！
2値FSK変調の送信特性評価に！！

シグナルアナライザ MS2830A

IoT/M2M機器は、さまざまなIoTデバイスで構成され、無線通信機能を持つデバイスに属します。IoTデバイスは、さまざまな用途で利用され、さまざまなIoTデバイスで構成されています。IoTデバイスの送信特性を定量的に評価することは、IoTデバイスの開発において重要な課題です。送信特性の評価は、無線通信の信頼性を確保するために不可欠な要素です。送信特性の評価は、無線通信の信頼性を確保するために不可欠な要素です。送信特性の評価は、無線通信の信頼性を確保するために不可欠な要素です。

IoT/M2M機器の送信特性評価を定量的に！
2値FSK変調の送信特性評価に！！

シグナルアナライザ MS2830A

キーレスエントリーなど2値FSK変調の送信特性評価に！！

推奨製品：シグナルアナライザ MS2830A
 被測定物：キーレスエントリー、タイヤ空気圧モニタなど近距離簡易無線
 評価内容：送信評価。
 資料URL：

https://pages.anritsu-jpresponse.com/rs/408-MNE-052/images/WJ-P2TD-180044-01_2FSK-TX-evaluation.pdf



発振モジュール/PLLの評価に

シグナルアナライザ MS2840A

IoT/M2M機器は、さまざまなIoTデバイスで構成され、無線通信機能を持つデバイスに属します。IoTデバイスは、さまざまな用途で利用され、さまざまなIoTデバイスで構成されています。IoTデバイスの発振モジュール/PLLの評価を定量的に評価することは、IoTデバイスの開発において重要な課題です。発振モジュール/PLLの評価は、無線通信の信頼性を確保するために不可欠な要素です。発振モジュール/PLLの評価は、無線通信の信頼性を確保するために不可欠な要素です。発振モジュール/PLLの評価は、無線通信の信頼性を確保するために不可欠な要素です。

IoT/M2M機器の発振モジュール/PLLの評価を定量的に！

シグナルアナライザ MS2840A

IoT/M2M機器は、さまざまなIoTデバイスで構成され、無線通信機能を持つデバイスに属します。IoTデバイスは、さまざまな用途で利用され、さまざまなIoTデバイスで構成されています。IoTデバイスの発振モジュール/PLLの評価を定量的に評価することは、IoTデバイスの開発において重要な課題です。発振モジュール/PLLの評価は、無線通信の信頼性を確保するために不可欠な要素です。発振モジュール/PLLの評価は、無線通信の信頼性を確保するために不可欠な要素です。発振モジュール/PLLの評価は、無線通信の信頼性を確保するために不可欠な要素です。

IoT/M2M機器の発振モジュール/PLLの評価を定量的に！

シグナルアナライザ MS2840A

発振モジュール/PLLの評価に

推奨製品：シグナルアナライザ MS2840A + 低位相雑音オプション など
 被測定物：発振モジュール/PLL。無線機の開発段階の基礎評価。
 評価内容：位相雑音性能。注) 中心周波数は130-500MHzを目安。
 資料URL：

https://pages.anritsu-jpresponse.com/rs/408-MNE-052/images/WJ-P2TD-160218-02_PhaseNoise-evaluation.pdf



アンリツ 老朽化設備更新

← 本書でご紹介したリーフレットをまとめてwebに掲載しております。

本資料は、記載内容をおことわりなしに一部変更する場合があります。また、各測定画面例の数値結果等は保証される値ではありません。規格値はカタログ/データシートをご覧ください。



URL: <https://www.hodaka.co.jp/>

本社：〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-12-12
 新横浜IKビル 9F TEL:045-595-9394
 拠点：横浜営業所、厚木営業所、東京営業所
 名古屋営業所、三重営業所、浜松営業所
 関西営業所、京都営業所、岡山営業所

アンリツ株式会社

<https://www.anritsu.com>
 通信計測営業本部 営業推進部
 TEL: 0120-133-099
 FAX: 046-296-1248
 E-mail: SJPost@zy.anritsu.co.jp